



# かでのな

編集と発行

発行 嘉手納町役場

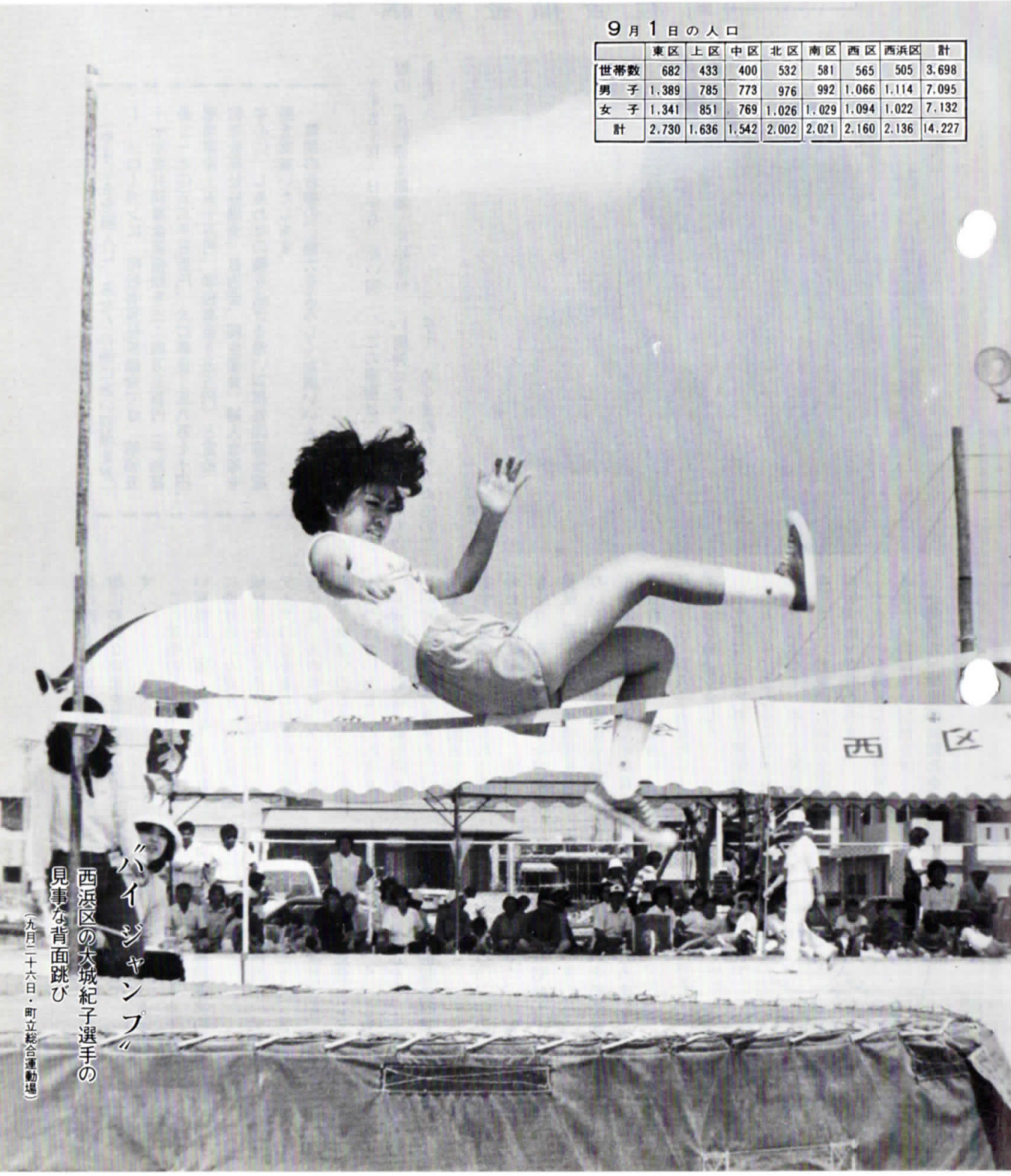
編集 企画経済課広報係  
〒904-02

嘉手納町字嘉手納81番地  
☎(098956)1111~1114

印刷：ロータリー印刷

### 9月1日の人口

	東区	上区	中区	北区	南区	西区	西浜区	計
世帯数	682	433	400	532	581	565	505	3,698
男子	1,389	785	773	976	992	1,066	1,114	7,095
女子	1,341	851	769	1,026	1,029	1,094	1,022	7,132
計	2,730	1,636	1,542	2,002	2,021	2,160	2,136	14,227



「ハイジャンプ」

西浜区の大城紀子選手の  
見事な背面跳び

# しあわせの輪を広げる赤い羽根

## 募金目標 324万500円

10月1日より共同募金  
町社会福祉協議会



「やさしさを隣人に、あなたの胸に赤い羽根を」  
 一、スローガンに、町社会福祉協議会では、昭和五十七年度共同募金目標額を三二四万五〇〇円（戸別募金一七〇万三千五百円、大口募金一五八万七千円、職域募金一五〇万円、学校募金一五〇万円）と定め、町社会福祉協議会、自治会、民生委員、婦人会等を中心に、しあわせの輪を広げる赤い羽根共同募金運動を実施いたします。

町民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

今年も十月一日から、赤い羽根の「共同募金運動」が始まります。

この運動は、お互いの助け合い精神によって、わたしたちの手で、めぐまれない人たちの生

活の向上をはかるなどの福祉活動に必要な資金を集めるもので

この運動のシンボルである赤い羽根は、困ったときはお互いに助け合いながら、住みよい地域社会をつくろうというボランティアの心を表したものです。古くは、あのロビンフッドも正義と勇気のしるしとして帽子につけていたといわれます。

共同募金運動は、戦後間もない昭和二十二年に産声を上げて以来、今年で三十六回目を迎えます。その間に寄せられた善意のお金は約千七百四十二億円にも上り、老人福祉、心身障害者福祉、児童福祉、地域福祉などのいろいろな社会福祉事業や更生保護事業を進めるために役立てられています。ちなみに、昨年は全国で百八十五億円に上る寄付金が集まりました。

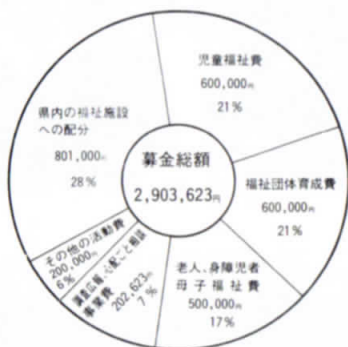
今年度は、共同募金運動発足三十五周年に当たることから、これを記念して、老人と障害者の生きがい対策のための全国共通特別配分が行われます。

やさしさを隣人に——今年もあなたの胸に赤い羽根を、  
 沖縄県の、昨年の共同募金

は次のように使われました  
 配分総額（二〇〇%）

- 身体障害者・老人ホームなどの民間福祉施設充実のため  
 一六九、四六二、三五三円
- すみよい地域社会をつくるための福祉活動費として  
 ……四四、八四四、一七六円（二六、五%）
- その他全般的福祉事業推進費として  
 ……二七、六〇〇、〇〇〇円（一三、三%）

嘉手納町では、昭和五十六年度共同募金は二、九〇三、六二三元のすばらしい実績を納め、左図のように使われました。





# よく見よう・人は車を・車は人を

## 交通安全標語・ポスターコンクール 町交通安全推進協

「あぶないよ・なれすぎた道  
路の・ふざけっこ」、「よく見  
よう・人は車を・車は人を」

と、嘉手納町交通安全推進協  
会（吉浜朝永会長）では、九月  
十四日、町中央公民館で開かれ  
た秋の交通安全推進協議会にお  
いて、昭和五十七年度の交通安  
全標語・ポスターの入賞者に対  
する表彰式を行いました。

これは、児童  
・生徒の交通安  
全意識の高揚を  
図るために実施  
されたもので、  
両小学校から三  
四二点（標語の  
部二二四点・ポ  
スターの部一一  
八点）の出品が  
ありました。審  
査は七人の審査  
委員によって行  
われ、表現力、  
展望、明るさ、

純粋さ、協調性、構成の六点到  
ついで厳しい審査が行われ、各  
部門別に会長賞一点、警察署長  
賞一点、入選五点、佳作二十点  
が選出され、吉浜会長から賞状  
と記念品が手渡されました。

### 標語の部

会長賞 古謝正人 嘉小六年  
署長賞 大城 涉 嘉小三年



▲吉浜町長から賞状を受ける池原直子さん(9月14日・中央公民館)

入選 浜里拓、古謝としろ  
う、田場あゆみ、幸地正、  
伊佐英克

佳作 仲村ゆきみ、又吉桂  
司、新垣順一、石嶺玲子、

福地亮太、玉那覇めぐみ、

饒波毅、仲村えり子、伊波

琴路、城間淳子、山入端泉、

玉城秀剛、知念美知代、浜

元朝一郎、仲田ゆきの、玉

城和機、我那覇真由美

### ポスターの部

会長賞 池原直子 屋小三年

署長賞 池原直子のり 嘉小六年

入選 田仲勇、古謝尚巳、

宮城周子、山内厚子、島袋

綾

佳作 津堅幸枝、高良幸雄、

浜里拓、知念睦子、池原直

子、亀川貴央、崎浜秀幸、

喜友名朝男、新垣みか、福

地亮太、古謝泰広、古謝靖

大城治樹、玉城和機、松嶺

邦子、金城睦邦、与那嶺立

次、上原奈津子、島袋恵、

城間淳子



全国防犯運動  
10月11日～20日

## クロキとハイビスカスはお元気ですか

緑でつつむ健康な街  
10月は都市緑化月間



▲昨年の都市緑化コンクールで県知事賞を受けた屋良城跡公園(56年5月)

「都市に緑と公園」、「緑で  
つつむ健康な街」をスローガ  
ンに、十月は全国一斉に都市緑  
化月間となっております。町で  
は緑豊かな生活環境を確保する  
為公園の整備、街路樹の設置、  
緑地の確保を積極的に進めてい  
るところであります。

近年多くの方が、緑地や公園、  
自然景観が私達の日常生活にお  
よぼす重要性についての認識が  
高まり、宅地建物を含めた都市  
全体の緑化運動が盛んに進めら  
れております。

町では、町民の緑化に対する  
要望にこたえるべく、嘉手納町  
を緑と花で美しい生活環境をつ  
くろうと、去る八月五日、町木  
にコクタン、町花にハイビスカ  
スを決め、さったかでなまつり  
においてその苗木の無料配布を  
行ったところであります。

町民が町木・町花を愛し育て  
て、町の自然、公園等を大切に  
し緑豊かな町づくりを推進しま  
しょう。





# 豊かな暮らしと住みよい社会 をつくる郵便貯金!!

## 十月郵便貯金月間

郵便局の郵便貯金は、明治八年の創業以来身近な貯蓄として広く国民のみなきま方にご利用いただき、預けられた貯金の総額は、全国で七十二兆円、沖縄県内においても二、一五〇億円を超えています。

このみなきまからお預かりした大切なお金がどのように使われているかご存知でしょうか。

郵便貯金としてお預かりしたお金は、大蔵省の資金運用部に預けられ財政投融资の主要な原資として各方面へ融資され、住宅・学校・病院・道路・下水道・ゴミ処理施設の建設・中小企業・農林漁の近代化など、みなきまのごく身近なところで生かされています。

沖縄県内では、県・市町村等に対して、一、一八二億円及び沖縄振興開発金融公庫を通じて中小企業、農林漁業関係者等に対応して、五、四九一億円の融資がなされています。

私達の嘉手納町でも、一〇億

六、一二九万円の融資を受けております。今年度はこの資金によって、役場庁舎及び町民会館建設・兼久海浜公園整備・墓地公園整備等の事業が行われます。郵便局では、このような郵便貯金の働きを広く町民のみなきま方にご理解いただくため関係機関の協力を得て毎年十月を「豊かな暮らしと住みよい社会をつくる郵便貯金月間」として

### 忘れられた

### 郵便貯金通帳はありますか

長い間お金の出し入れがない古い郵便貯金通帳の残高も少ないからと、たんすの中にしまったままになっている通帳はありませんか。

郵便貯金は、預け入れや払い戻しがないまま、十年間が過ぎますと、預け主としての権利がなくなりまますから気を付けましょう。

郵便局では、郵便貯金の利用

PR活動を行っています。また、この期間中の十月二十五日から三十一日までを「郵便貯金週間」として、日ごろからご利用いただいておりますみなさまへ感謝の意を表わすため県内の全郵便局で「花の種子プレゼント」を行います。さらに、沖縄郵政管理事務所では十月二十九日に那覇市民会館において、「郵便貯金感謝の夕べ・さとう宗幸・音楽コンサート」を開催いたします。

今後とも郵便貯金に対するご理解とご支援をお願いします。かなりの金額になっていることもあります。郵便局で利子の記入や住所変更、印章変更の届け出などをすると、その時から十年間有効となります。

10月22日

## 巡回行政相談所を開設

### 苦情なくして明るい生活

十七日から行政相談週間

あなたの生活と行政をつなぐパイプ、それが行政相談業務です。あなたが持っている行政への苦情や要望を聞き、解決を図ってくれるのが行政相談委員です。今年も「親切、ていねい、迅速な窓口をめざして」の統一テーマの下に、十月十七日から「行政相談週間」が始まります。

役所（国・県・市町村）の仕事について、処理や説明に納得できない、なかなかやってくれない、こうしてほしいなどの苦情・相談のある方はお気軽においでください。

場所 町中央公民館（小会議室）  
平日の相談はこちらへ  
嘉手納町行政相談委員  
氏名 幸地鳳篤氏  
住所 字水釜 一一二  
電話 六一一二三四



つたときは必ず届けておきました。もし、古い通帳が見つかったら、お早めに郵便局へ……。

# 総合優勝東区体協支

陸上は男・女共 西浜区優勝  
57年度・町体育協会



▲スポーツ功労者と優秀競技者の表彰を受けた四氏  
(9月26日・町立総合運動場)

嘉手納町体育協会(比嘉朝盛会長)では、九月二十六日、町立総合運動場において各区対抗体育大会の最終種目である、第三十五回陸上競技大会を開催しました。

大会は、秋晴の下で各種目にわたり熱戦が展開され、大会記録が八種目(男子五・女子三)更新された。特に男子一万メートルでは西浜区の饒辺名知一選手が十八年ぶりに安里勇栄選手(旧十一区)のもつ大会記録を

一分三十秒六更新した。また、三十代百メートルにおいても知花久則選手が渡慶次栄栄選手の記録(第二十三回大会)の十一秒八を〇、二秒更新した。

また、開会式において、長年にわたり嘉手納町スポーツ界の発展に尽力し、その功績が顕著であるとし、スポーツ功労者に德里政順氏、奥間清次氏、花城隆氏、優秀競技者に照屋行雄氏の四氏が表彰を受けました。

第三十五回陸上競技大会

## 57年大会新記録

種目	大会記録	大会新記録	氏名
100 m	30代 11秒8	11秒6	知花久則
400 m	一般女 1分15秒0	1分12秒0	知花良子
1,500 m	30代 4分55秒2	4分50秒4	玉城進
10,000m	フリー 37分58秒2	36分27秒6	饒辺名知一
砲丸投 婦人	8m00	8m04	知花千恵子
30代	10m75	11m29	知花久則
円盤投 婦人	22m78	23m90	地上代
ハンマー投 フリー		18m72	西平守正

- 男子・一位 西浜区  
二位 東区  
三位 西区
- 女子・一位 西浜区  
二位 西区  
三位 東区
- 昭和五十七年度全体総合成績
- 一位 東区 (八三・五點)
  - 二位 西区 (七七・五點)
  - 三位 西浜区 (七七・五點)
  - 四位 北区 (六〇・〇點)
  - 五位 南区 (五八・五點)
  - 六位 中区 (五五・五點)
  - 七位 上区 (四二・五點)

## 体育指導員研究大会で表彰

地域社会体育向上に寄与  
東区の比嘉健雄氏

「体育指導員として、永年昭和五十七年度全体総合成績にわたり社会体育・スポーツの普及振興に尽力され顕著な成果をあげた」と、比嘉健雄氏(嘉手納町体育指導員)の功績が認められ、九月四日具志川村役場ホールで行われた、第二十回沖縄県体育指導員研究大会で表彰を受けました。

この表彰は社会体育・スポーツの健全な普及および発展に貢献した沖縄県の体育指導員及び役員が七年以上その職にあって、特にその功績が著しいものに対し贈られるもので、今年は六名の方が表彰されました。

比嘉健雄氏は現在、町民の体育、スポーツ、レクレエーションの指導実践に参画し、特に壮年ソフトボールクラブ、町走ろう会の指導に献身的に尽力されている。また、中頭地区体育指導員協議会理事としても中頭地区の体育指導員の資質の向上を図り中頭地区の社会体育の発展に寄与している。さらに、

地域にあっては住民との係りあいを大切にし絶えず住民の体育スポーツに寄せる期待と関心を掌握しながら、行政施策に反映させようと常に社会体育向上に真剣に取り組む姿勢は体育指導委員の模範的存在であり高く評価され、今回の表彰となったものです。



▶表彰状を受ける比嘉健雄氏  
(九月四日・具志川村役場)



## 老後の生きがいを求め

### ◆ 町老人クラブ展示即売会 ◆



▲約千点の作品が会場いっぱいに表示された  
(9月8日・中央公民館)

「趣味の作品展・お年寄りの幸せを高めよう」と、第九回嘉手納町老人クラブ作品展即売会が、九月八日、中央公民館ホールで催され、多くの参観者でにぎわいました。

この展示会は、老人クラブ会員が集い、人生経験を生かし日ごろ丹精こめて作ったものを展示することにより、老後の豊かな生活の創造と地域住民の老人福祉に対する理解と関心を深めるために行っているものです。

会場には、特に昔なつかしいパーキや手まりなどの民芸品や手づくりの人形、盆栽、生花、書道、農産物や加工品などが展示され、二〇七人の作品一千点余が会場狭しと展示され参観者の目を楽ませました。

## 町遺族会チーム初優勝

### ◆ 遺族連合会ゲートボール大会 ◆



▲初優勝に輝く町遺族会婦人部の皆さん  
(9月8日・いこいの広場)

第三回遺族連合会親睦ゲートボール大会が、九月七日・八日の両日、奥武山陸上競技場サブグラウンドで三十三チームが参加して行われ、嘉手納町遺族連合会チームが決勝戦で名護チームを十五対九と下し、初優勝をかざりました。

この大会は、ゲートボール競技を通じ各市町村遺族会員との交歓を行い会員相互の親睦を深め健康増進と組織強化のために開いている大会です。

町遺族会チームは、日ごろ老人クラブで鍛え上げた腕まえを遺憾なく発揮し、一回戦の伊江村を十二対七、二回戦与那原町を十五対九、三回戦読谷村を十対九、準決勝戦の旧コザ市を十五対四と下し、決勝戦では名護市チームを圧倒し初優勝した。

## 東区婦人チームが優勝

### ◆ 家庭婦人ソフトボール大会 ◆



▲北区チーム対西浜区の準決勝 (9月18日・嘉小グラウンド)

町教育委員会主催による、第十一回各区対抗家庭婦人ソフトボール大会が、九月十八日午後七時から、準決勝、決勝戦の三試合が行われ、北区チーム対東区チームの間で決勝戦が行われ、二十対二の大差で東区婦人チームが優勝した。

この大会は、日ごろ家事や子供の世話におわれ、運動をする機会に恵まれない家庭婦人を対象に行われたもので、ソフトボール大会を通じて各区婦人会相互の親睦を深め、連帯意識の高揚を図るために行われたものです。

グラウンドには、子供づれのお父さん方が多く見受けられ、珍プレーやファインプレーにさかんな声援がもたらされ、家族総出でソフトボール大会を楽しんでいた。

